

デジタコに係るフォローアップ調査について

デジタコのフォローアップ調査の実施内容

- 令和6年7月30日に開催した第3回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」に基づき、フォローアップ調査を実施。

① 貨物自動車運送事業者に対するデジタコの装着状況等に係る実態調査：

- 調査機関：令和8年1月22日（木）～2月13日（金）
- 調査対象：貨物自動車運送事業者（公益社団法人全日本トラック協会経由）
- 回答者数：2,363者（71,927車両）（回答者：前回調査（2024年度）より約41%増、車両数：約32%増）
- 回答方式：WEBアンケート
- 主な設問内容：デジタコの装着率、令和7年度にデジタコを新規導入した場合の補助金活用の有無、デジタコ未導入の理由等

② デジタコメーカーに対するデジタコの機能等に係る実態調査：

- 調査機関：令和8年1月22日（木）～2月10日（火）
- 調査対象：事故防止対策支援推進事業（安全政策課）の補助対象デジタコのメーカー、デジタコの型式指定を受けているメーカー（本年度より調査対象に追加）
- 回答者数：19者
- 回答方式：メールを用いた書面
- 主な設問内容：デジタコの機能、出荷台数、希望小売価格、中小・零細の運送事業者が導入しやすいデジタコの開発意向等

車両数ベースのデジタコ装着率の推移 | 最大積載量別

- 最大積載量が4t以上の車両※におけるデジタコの普及率は約80%であり、前年と同程度であった。
※運行記録計による記録の義務対象車両
- また、最大積載量大きいほど装着率が高い傾向は、前年と同様であった。

最大積載量別の装着率（車両数ベース）

2024年度調査（軽除く）

	最大積載量	総車両数	装着車数	装着率
2	2t未満	3,154	1,675	53.1%
3	2t以上4t未満	17,906	12,562	70.2%
4	4t以上	33,654	26,847	79.8%
	合計	54,714	41,084	75.1%

2025年度調査（軽除く）

	最大積載量	総車両数	装着車数	装着率
1	2t未満	6,252	3,749	60.0%
2	2t以上4t未満	22,031	16,712	75.9%
3	4t以上	43,644	34,690	79.5%
	合計	71,927	55,151	76.7%

※軽を含むと、装着率73.7%（保有58,715両・装着43,288両）

車両数ベースのデジタコ装着率の推移 | 最大積載量別・事業者規模別

- 事業者の規模が小さいほどデジタコの装着率が低い傾向も、前年と同様であった。

最大積載量別・事業者規模別の装着率（車両数ベース）

2024年度調査（軽除く）

	最大積載量	9両以下			10~29両			30両以上		
		総車両数	装着車数	装着率	総車両数	装着車数	装着率	総車両数	装着車数	装着率
1	2t未満	295	84	28.5%	766	414	54.0%	2,093	1,177	56.2%
2	2t以上4t未満	671	345	51.4%	3,560	2,565	72.1%	13,675	9,652	70.6%
3	4t以上	1,715	752	43.8%	8,683	6,045	69.6%	23,256	20,050	86.2%
	合計	2,681	1,181	44.1%	13,009	9,024	69.4%	39,024	30,879	79.1%

※軽を含むと、9両以下：装着率43.4%（保有2,728両・装着1,185両）、10~29両：装着率68.0%（保有13,485両・装着9,170両）、30両以上：装着率77.5%（保有42,502両・装着32,933両）

2025年度調査（軽除く）

	最大積載量	9両以下			10~29両			30両以上		
		総車両数	装着車数	装着率	総車両数	装着車数	装着率	総車両数	装着車数	装着率
1	2t未満	472	80	16.9%	1,316	573	43.5%	4,464	3,096	69.4%
2	2t以上4t未満	1,201	552	46.0%	5,269	3,547	67.3%	15,561	12,613	81.1%
3	4t以上	2,777	1,208	43.5%	11,766	7,948	67.6%	29,101	25,534	87.7%
	合計	4,450	1,840	41.3%	18,351	12,068	65.8%	49,126	41,243	84.0%

デジタコ装着率の向上策 | 補助制度の見直し

- デジタコ装着率の向上策として補助制度を見直し、令和6年度補正予算および令和7年度当初予算では、特に装着率が低い**小規模事業者**に対して**集中的な補助**を実施。
- 現時点では前年度と比べて装着率に大きな変化は見られないが、施策実施直後であるためと認識。

デジタコ導入に係る補助金制度の見直し内容

項目	令和6年度当初予算補助金事業	令和6年度補正予算補助金事業
対象者	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての中小規模のトラック事業者 ※貨物軽自動車運送事業者を除く 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>保有車両台数が10両未満の中小規模のトラック事業者</u>であって<u>デジタコ未装着者に限定</u> ※貨物軽自動車運送事業者を除く
補助率 (補助限度額)	<ul style="list-style-type: none"> • 3分の1 (補助限度額：2万円/台、通信機能付ドライブレコーダー一体型8万円) 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>2分の1</u> (補助限度額：3万円/台、通信機能付ドライブレコーダー一体型13万円)

令和7年度当初予算補助金事業においては、全ての中小規模のトラック事業者を対象に補助金交付事業を行っており、事業者の規模等により補助率に差を設けている。

	中小規模のトラック事業者	<u>保有車両台数が10両未満の中小規模のトラック事業者</u> であって <u>デジタコ未装着者</u>
補助率	3分の1	<u>2分の1</u>

デジタコ装着率の向上策 | デジタコに関する理解向上セミナーの開催

- デジタコ装着率の向上策として、全国5か所でセミナーを開催し、デジタコを装着する意義や操作方法等を説明。

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年10月6日
物流・自動車局 安全政策課

デジタコに関する理解向上セミナーを開催します！
～デジタコの機能と効果について～

自動車運送事業の運行管理業務の効率化が期待される。デジタコに関する理解向上セミナーを開催します！～デジタコの機能と効果について～

「物流革新に向けた政策/関係会議」において、「デジタル式運行記録簿を囲む」とされており、「物流の効率化・生産性向上」これらの状況を踏まえ、さついで理解向上するための「デジタコメーカーのブース」セミナーとなっております。

実際にデジタコに触れて機能を確認できます！

国土交通省主催

デジタコに関する理解向上セミナー

～デジタコの機能と効果～

令和7年 11月4日(火)
13:00～16:00 (受付開始 12:30～)

会場 T&P田町カンファレンスセンター
ホール2A
東京都港区芝5-29-14 田町日ビル 2階

内容

- 1 デジタコ装着の意義と最新の政策動向
- 2 デジタコとは？紹介動画上映
デジタコの機能や活用方法についてご紹介します。
- 3 デジタコメーカーのブース観覧(自由)
デジタコメーカー各社が主催。最新の商品についてご質問いただけます。
(一) 日本トラック協会 物流事業者工友会 各会員事業所から
(二) 各社主催(要予約)

会場周辺図

参加申込

申込期間 開催日まで
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法 下記サイトに、必要事項を記入して送信をお願いします。
参加費は 無料 です。

申込サイト https://www.e-toroku.jp/ticket/user/form/index?form_id=mlit_unikoukanr

お問い合わせ先
代表 03-5253-8111 国土交通省 物流・自動車局 安全政策課

説明会事務局
デジタコに関する理解向上セミナー事務局
mlit_digitacho@event-rangers.jp

説明会の概要

- **実施時期：**
令和7年11月から順次
- **場所：**
東京、札幌、仙台、大阪、福岡
- **周知内容：**



①貨物自動車運送事業における物流の効率化に関する最新の政策動向

- 運転者の高齢化や担い手不足に加え、時間外労働の上限規則が適用されたことにより、輸送力不足が懸念されること
- こうした輸送力不足に対し、物流の効率化による対策と併せ、デジタコの普及促進を通じて輸送の安全確保を図る必要があること

②デジタコを装着する意義および装着率向上策

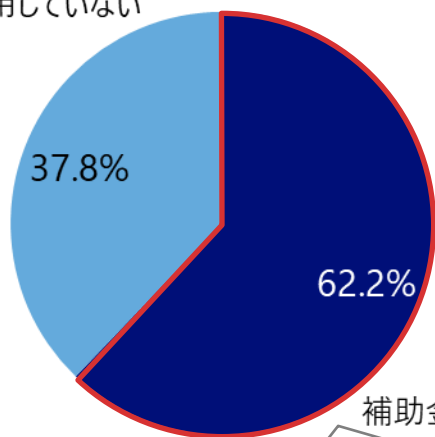
- アナタコと比較したデジタコのメリット：デジタコを装着することで、労務管理の現実性の向上や運行状態の分析の効率化を図ることができること
- デジタコの装着率向上策：デジタコの普及率に係る目標を達成するために、補助制度の見直しや、デジタコの装着意義や操作方法等の理解向上セミナー等を実施すること

事業者数ベースの補助金・助成金の活用状況

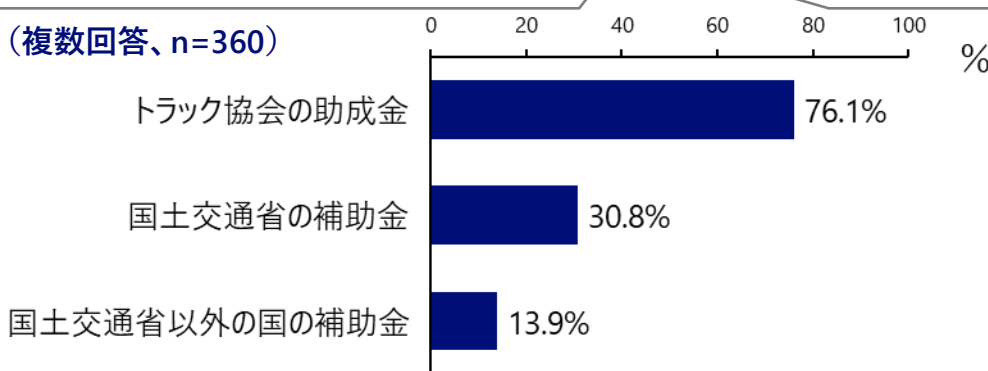
- 今年度新たにデジタコを導入したと回答した事業者のうち、補助金・助成金を活用しなかった者が約4割みられた。
- 事業規模が小さいほど「活用していない」と回答した割合が高いことから、小規模事業者にも情報が行き届くよう、引き続き取り組んでいく。

令和7年度のデジタコ導入における、補助金の活用有無と種類 (n=579)

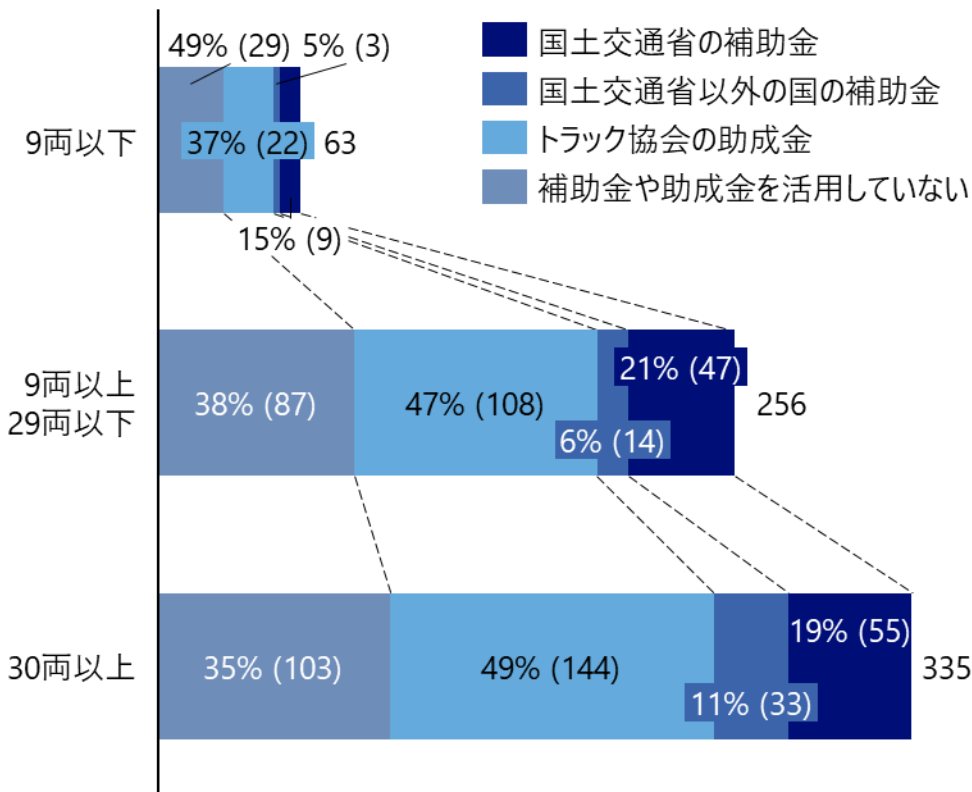
補助金や助成金を活用していない



(複数回答、n=360)



事業規模別の補助金の活用有無と種類 (事業者数ベース、n=579)



デジタコ装着率向上策 | 今後の方針

- 貨物自動車運送事業者におけるデジタコ装着率の向上に向けて、地方都市および小規模事業者を主な対象として、デジタコを装着する意義や補助金制度の内容について、より一層の周知を図る施策を検討する。

小規模事業者へのアプローチ方針

- 主に小規模な運送事業者に対しては、以下の方法により周知を行う。
 - SNS等を活用し、国土交通省において作成した動画（デジタルタコグラフ導入のメリット）の周知啓発
 - デジタコ装着のメリットをまとめたリーフレット等の作成及び周知



地方都市へのアプローチ方針

- 地方都市に対しては、デジタコ理解向上セミナーへの参加を促進することで、周知を行う。
 - **開催地の拡大：**
令和7年度11月に5都市（東京、札幌、仙台、大阪、福岡）で開催したデジタコ理解向上セミナーについて、令和8年度は地方都市にも拡大して開催することを検討。



今後の予定(案)

- 次年度もフォローアップ調査を継続。

フォローアップの流れ

(2026～2027年)
フォローアップ調査の実施

- 毎年末、フォローアップ調査を実施し、本検討会に報告する。

【トラック事業者】

- 最大積載量区分別※1のデジタコの装着率
- 事業者規模別のデジタコの装着率

※1 2t未満、2t以上4t未満、4t以上

【デジタコメーカー】

- 型式別のデジタコの機能、価格、出荷台数

(2027年度末)
デジタコ装着の義務化の要否等を検討

- 2027年度末には、フォローアップ調査で得られた以下の点も踏まえ、義務化の要否等について検討する。

【トラック事業者】

- デジタコの装着率

【デジタコメーカー】

- 低廉なデジタコの開発・販売状況
- デジタコの供給量

⇒ 次回は2026年度末にフォローアップ調査を行い、その結果について検討会に報告することを予定